

新潟県立十日町病院を受診された患者さまへ

当院では下記の観察研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 骨折リエゾンサービスの有用性に関する調査

研究責任者 倉石 達也 (整形外科)

他の研究機関及び各施設の研究責任者 なし。

本研究の目的 大腿骨近位部骨折を受傷した高齢患者さんの治療を様々な部門の医療関係者で行うことによって、『質の高い診療』、『二次骨折予防効果』などが期待されます。

調査データ該当期間 2016年1月から2025年12月までの情報を調査対象とします。

研究の方法 対象となる患者様

上記期間に大腿骨近位部骨折の手術を受けた60歳以上の患者さん。

利用する情報

電子カルテに記載のある診療記録、画像・検査・処方データを利用します。

資料・情報の他の研究機関への提供

『NPO 法人 日本脆弱性骨折ネットワーク』、『日本整形外科学会大腿骨近位部骨折調査事務局』へ資料・情報を一部提供します。

個人情報の取扱い 利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用いたしません。

本研究の資金源 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
(利益相反)

お問い合わせ先 電話 025-757-5566

担当者 倉石 達也